

# 県立病院建替えによる病床数の影響は

## 急性期と回復期機能強化をすると認識

**議員** 県立釜石病院建替えは、2032年度の開院を目指し、回復期リハビリテーション病棟60床を含む180床規模を想定するものである。現釜石病院の病床数も180床であることから一般病床数の減となるのではないかと。

**市長** 急性期の入院機能を縮小するのではなく、回復期までの幅広い症状の患者への医療を地域内で提供できる体制を整備する目的と認識する。

**議員** 一般病床数の減は入院日数の短縮が求められることや、在宅医療や介護への過度な負担増につながる結果として介護体制のひっ迫が危惧されるが。

**市長** 医療技術の進歩や平均在院日数の短縮により、必要とされる病床数の適正化が進められている。将来の圏域人口の推計や人口減少による医療需要の変化を見据え、令和6年度における県立釜石病院の病床利用率が71・7%であることも考慮し、必要な機能を確保した上で強化するものと認識している。

**議員** コロナ禍で病床不足が深刻化した教訓がある。建替えによる病床数減

**市長** 医療技術の進歩や平均在院日数の短縮により、必要とされる病床数の適正化が進められている。将来の圏域人口の推計や人口減少による医療需要の変化を見据え、令和6年度における県立釜石病院の病床利用率が71・7%であることも考慮し、必要な機能を確保した上で強化するものと認識している。

**市長** 感染発生時には、救急医療の麻痺やパンデミックへの対応力を奪うものと思うが。

**市長** 感染発生時には、救急医療の麻痺やパンデミックへの対応力を奪うものと思うが。

**市長** 感染発生時には、救急医療の麻痺やパンデミックへの対応力を奪うものと思うが。

**市長** 感染発生時には、救急医療の麻痺やパンデミックへの対応力を奪うものと思うが。

### 自主防災組織について

**議員** 地域防災リーダーの高齢化が進展していく中で、組織活性化の取組とは。



中妻地域の避難訓練の様子

### 危機管理監

地域の高齢化や町内会活動への参加者の減少などが、自主防災活動の課題になっていると認識している。当市では、防災学習講座等の機会を通して、防災意識の啓発を行うとともに、避難訓練を行うよう促す等の取組を行っている。自主防災組織とは「誰かがやる組織」ではなく、地域住民自らが、自らの地域を守るという意識のもと活動する組織だ。自主的な活動を行う組織に対して引き続きの支援や、活動できない地域に寄り添った形での助言や支援を行っていく。



深澤秋子



議員のこちら  
動画は

### 質問項目

- ・ 施政方針演述について
- ・ 地域福祉行政について
- ・ 保健福祉行政について